



ボランティア活動を行うにあたって ～心構え～

ボランティア活動ってどんな活動？

<ボランティア活動とは>

ボランティア活動は、自分からすすんで、自分の考えで、自分の身近なさまざまな問題に取り組んでいく活動です。たとえば、自分たちのまちのゴミをひろってきれいにしたり、お年寄りや障がいのある方を助けたり、世界で起きている戦争や地球規模での環境問題を考え助ける活動など、さまざまな活動があります。

<ボランティア活動ってどんな意味？>

ボランティアの語源はラテン語の「ボランタール」だといわれており、意味は「自由意志」です。フランス語では「ボランテ」、英語では「ボランティア」でいずれも意志、志願兵、自発的などという意味があります。

※広辞苑「ボランティア」には **volunteer** (義勇兵の意) 志願者。奉仕者。自ら進んで社会事業などに無償で参加する人と書かれています。

<ボランティア活動のポイント>

ボランティア活動には4つのポイントがあります。このポイントを読めば、ボランティア活動の意味がもっとよく理解できます。

① じはつせい 自発性・じしゅせい 自主性

誰かに強制されたり義務としてではなく、自らすすんで行う活動です。

② しゃかいせい 社会性・れんたいせい 連帯性

一人ひとりを尊重しながら生活や社会を一緒に考え、誰もがいきいきと生活できるよう支えあいを学ぶ活動です。

③ むしょうせい 無償性・ごしゅうせい 互酬性

お金や物などを求めない活動で、お互い様という対等な関係で行われる活動です。

④ せんくせい 先駆性・かいたくせい 開拓性

私たちの生活の中のさまざまな課題を自分たちで考え、解決するためにできることから実践したり、社会へ発信していく活動です。

ボランティア活動をはじめる前に

＜ボランティア活動をするときの服装＞

服装は常に清潔にしておくこと、人から好感をもたれます。
相手に対する印象のほか、活動中の安全のために以下のようなポイントがあります。
活動前に自分でチェックしてみましょう。

髪の毛が長い人は、束ねましょう！



履物はサンダルより、スニーカーなど動きやすいものを選びましょう！

野外では帽子をかぶりましょう！
（帽子はケガから頭を守ったり、熱中症を防ぎます。）



名札の安全ピンや長い爪、アクセサリは他の人を傷つけるからやめましょう！



活動の内容に応じた格好を考えて準備しましょう。
（保育所などの活動の場合は水着か水にぬれてもよい服装を用意しておきましょう。）

<ボランティア活動をするときのマナー>

その1 まずはあいさつと自己紹介をしよう！

少し勇気を出して、自分のことを覚えてもらいましょう。

その2 笑顔を忘れないで！

あなたの笑顔は活動をスムーズにします。

その3 ボランティア同士のおしゃべりはやめよう！

ボランティア同士のおしゃべりより、活動相手の方と交流しましょう。

その4 約束ごとや決まりは必ず守りましょう！

約束や決まりを守ることで互いに気持ちよく活動ができます。

その5 困ったことがあったら遠慮しないで相談しよう！

いつまでも悩んでいないでまわりの人に相談しましょう。

その6 どんなに小さなことでも、責任をもって真剣に取りくもう！

自分で決めた活動だから、責任を持ちましょう。遅刻や欠席するときは必ず事前に連絡をしましょう。

その7 感謝の気持ちとお礼の言葉を忘れずに

ボランティア活動は、多くの人がかかわってできるものです。そのことを忘れないようにしましょう。

そしてもうひとつ、活動中のあなたや他の人を守ってくれる、ボランティア活動保険というものがあります。

<ボランティア活動保険に加入しましょう！>

「ボランティア活動に行く途中に道でころんでケガをした」「ボランティア活動中に相手にケガをさせてしまった」など、ボランティア活動には予想もしないケガや事故がつきものです。そんな時のためにボランティア活動保険に加入しましょう。

保険の手続きはお近くの市町村社会福祉協議会が窓口になっています。